

令和7年度 全国学力・学習状況調査の結果

R7.9月 尼崎市教育委員会

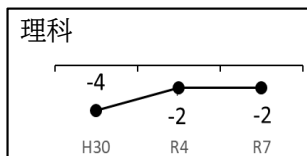
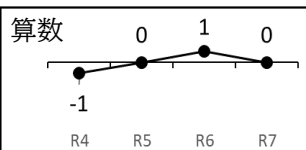
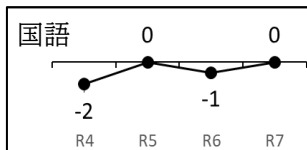
調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

尼崎市及び全国の平均正答率及び平均正答数等

小学校

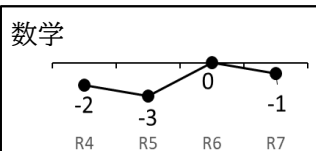
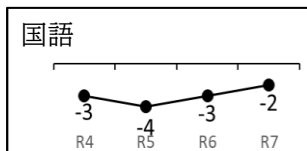
	尼崎市	全国	差
国語	67%	67%	0pt
	9.4/14 問	9.4/14 問	0問
算数	58%	58%	0pt
	9.3/16 問	9.3/16 問	0 問
理科	55%	57%	-2pt
	9.4/17 問	9.7/17 問	0.3 問



全国と尼崎市の差の推移

中学校

	尼崎市	全国	差
国語	52%	54%	-2 pt
	7.3/14 問	7.6/14 問	0.3 問
数学	47%	48%	-1 pt
	7.0/15 問	7.2/15 問	0.2 問



理科	尼崎市	全国	差
	495	503	-8

※500 を基準とした IRT スコア

中学校・理科調査ではコンピュータを使った調査 (CBT) が実施された。問題は公開と非公開があって、非公開問題は生徒ごとに異なる問題を解いているんだ。IRT スコアは平均正答率とは異なり、解けた問題の難易度によってスコアが変わるよ。

調査実施日・対象人数

令和7年4月17日(木)※中学校理科のみ4月14日~17日悉皆調査

教科/学年	小学6年生	中学3年生
国語	3,129 人	2,761 人
算数・数学	3,130 人	2,764 人
理科	3,133 人	2,762 人
質問調査	3,073 人	2,780 人

○…全国を上回った問題 △…課題があった問題

【国語】

○「目的や意図に応じて簡単に言い換えたり詳しく書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかどうか」をみる問題

△「事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握することができるかどうか」をみる問題

【算数】

○「異分母の分数の下方の計算をすることができるかどうか」をみる問題

△「簡単な二次元の表から、条件に合った項目を選ぶことができるかどうか」をみる問題

【理科】

○「ヘチマの花のつくりや受粉についての知識が身に付いているかどうか」をみる問題

△「乾電池のつなぎ方について、直列つなぎに関する知識が身に付いているかどうか」をみる問題

【国語】

○「読み手の立場に立って、表記を確かめて、文章を整えることができるかどうか」をみる問題

△「読み手の立場に立って、語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、文章を整えることができるかどうか」をみる問題

【数学】

○「相対度数の意味を理解しているかどうか」をみる問題

△「ある事柄が成り立つことを構想に 基づいて証明することができるかどうか」をみる問題

【理科】 ※公開問題のうち

○「科学的な探究を通してまとめたものを他者が発表する学習場面において、探究から生じた新たな疑問や身近な生活との関連などに着目した振り返りを表現できるかどうか」をみる問題

△「水の中の生物を観察する場面において、呼吸を行う生物について問うことで、生命を維持する働きに関する知識が概念として身に付いているかどうか」をみる問題

※IRTバンドをIRTスコアに換算すると、およそ以下のような対応関係になる見通しです。

IRTバンド	1	2	3	4	5
IRTスコア範囲	~350	350~450	450~550	550~650	650~

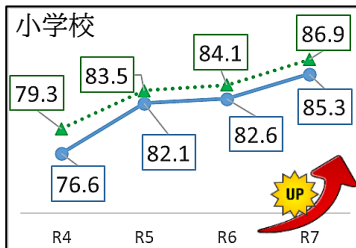
質問調査で、肯定的に答えた児童生徒の割合が高い項目や、経年での比較、そしてそれぞれの項目で肯定的・否定的に答えた児童生徒と正答率の関係に着目しました。

実線…尼崎市数値 点線…全国数値

小学校

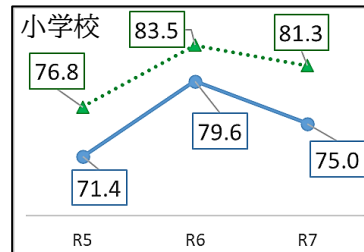
『自己肯定感』

「自分にはよいところがあると思いますか」という問いに対して、肯定的に回答した児童の割合(%)



『地域に関わる活動』

「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか」という問いに対して、肯定的に解答した児童の割合(%)

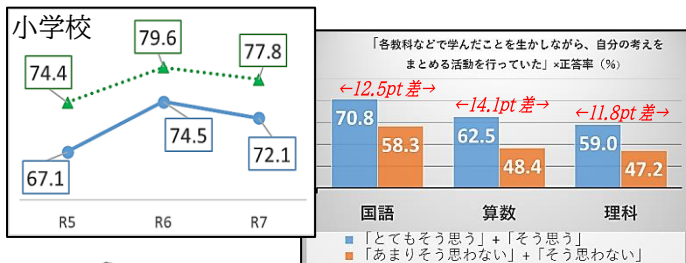


尼崎市では、小学生向けに尼崎の歴史を学ぶ「AMATAN 事業」を実施しているよ。尼崎城や歴史博物館を巡って尼崎の歴史を学んだ。自分の住んでいる市を知って何ができるか考えて欲しいな！

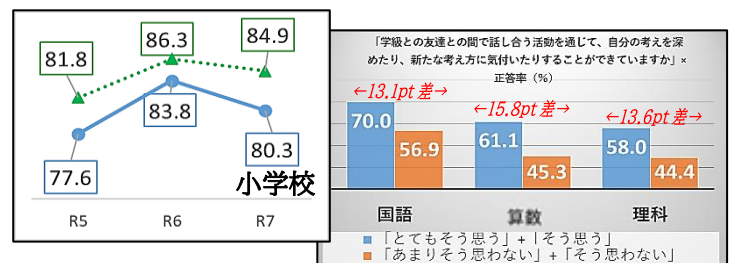


『主体的・対話的で深い学び』×平均正答率

「授業では、各教科などで学んだことを生かしながら自分の考えをまとめる活動を行っていましたか」という問いに対して、肯定的に回答した児童の割合(%)



「学級との友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか」という問いに対して、肯定的に回答した児童の割合(%)

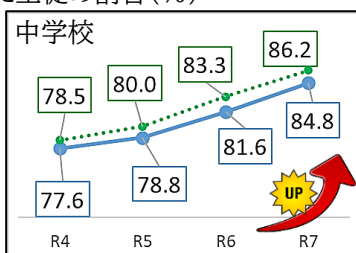


様々な教科で学んだことや友達の考えを組み合わせ、新たな学びに生かすことができているね！

中学校

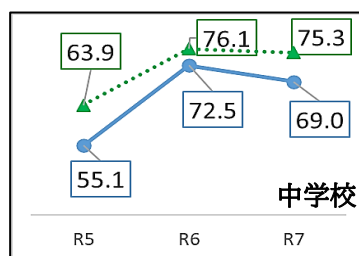
『自己肯定感』

「自分にはよいところがあると思いますか」という問いに対して、肯定的に回答した生徒の割合(%)



『地域に関わる活動』

「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか」という問いに対して、肯定的に解答した生徒の割合(%)

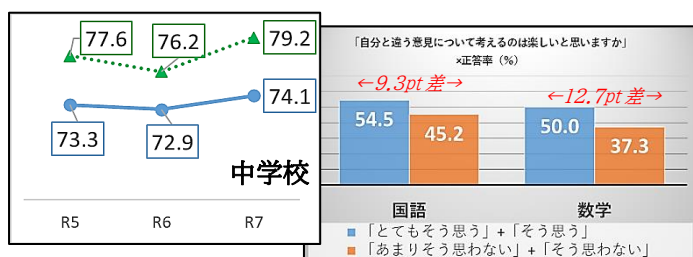


中学生の「地域や社会をよくするために何かしてみたい」という思いを広げるために、尼崎市では中学校の生徒会向けにリーダーシップ研修をしているよ。次世代のリーダー育成を目指して、今年度は尼崎市と縁が深い奄美大島に行って(AMA フレンドシップ事業)現地の中学生や住民との交流を行うよ！

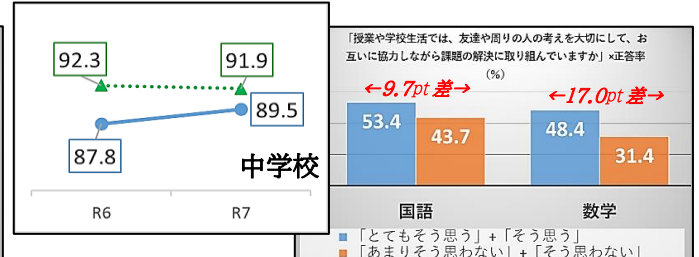


『主体的・対話的で深い学び』×平均正答率

「自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか」という問いに対して、肯定的に回答した生徒の割合(%)



「授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切にしてお互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか」という問いに対して、肯定的に回答した生徒の割合(%)



友達や周りの人からの様々な考え方や視点を取り入れて学習活動を行うことで、より深い理解につながっているね！

